

## 令和元年度第2回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 令和元年5月24日（金） 午前10時00分～11時25分
2. 開催会場 印西市文化ホール 小会議室
3. 出席者 粉川一郎委員長、椎名武博委員、林典子委員、藤澤進委員、樋口祥明委員、足立秀一委員、志村はるみ委員、坂本富彦委員（以上8名）
4. 事務局 市民活動推進課 佐瀬課長、金井係長、櫻井
5. 傍聴者 1名（定員5名）
6. 会議内容
  - 1 開会
  - 2 委嘱状交付
  - 3 議題
    - （1）委員長及び委員長職務代理者の互選について
    - （2）印西市の市民活動支援施策について
  - 4 その他
  - 5 閉会

### 7. 会議要旨

#### 3 議題

（1－1）委員長及び委員長職務代理者の互選について（委員長の互選について）

- ・委員長が選任されるまで、事務局が議事進行を務めることで了承され、佐瀬市民活動推進課長が仮の議長を務めた。

#### 《事務局説明》

- ・市民活動推進条例施行規則第6条第1号により、委員長は委員の互選で定めることとなっている。

#### 《選出結果》

- ・推薦により、粉川一郎委員が委員長に選任された。（以下、粉川委員長が議長）

（1－2）委員長及び委員長職務代理者の互選について（委員長職務代理者の選任について）

#### 《議長進行》

- ・市民活動推進条例施行規則第6条第3号により、委員長は職務代理者を指名することとなっている。

#### 《選出結果》

- ・委員長の指名により、志村はるみ委員が職務代理者に選任された。

（2）印西市の市民活動支援施策について

- 〔参考資料〕
- ・印西市市民活動推進条例及び施行規則
  - ・令和元年度企画提案型協働事業実施要領（案）
  - ・協働の手引き

・公益信託印西市まちづくりファンド 助成のあゆみ

《事務局説明》

印西市の市民活動支援（概要）を、計画・方針、条例・委員会、市民活動の支援策（センターの設置等）、助成制度（企画提案型協働事業、まちづくりファンド）、市民活動総合補償制度について簡潔に説明した。また、令和元年度企画提案型協働事業（案）についても説明した。

《議長進行》

- ・各委員から、説明について質問を伺いたい。

《委員意見等》

- ・まちづくりファンドと、推進委員会で協議していく事業とは別なのか。

→別のものです。（事務局）

- ・まちづくりファンドは、5千万円から始まったのか。また、現在の残高はいくらか。

→1億円ではじめ、5千万追加しております。残高は5千万程度です。（事務局）

《議長進行》

- ・各委員から、市民活動支援施策について、率直な意見等を伺いたい。

《委員意見等》

- ・事務局に確認ですが、市の市民活動施策の大きな柱としているのは、企画提案型協働事業と公益信託印西市まちづくりファンド、市民活動支援センター施策でよろしいか。（粉川委員長）

→はい。またこのほかに、町内会や自治会等の地域コミュニティも施策としてあり、地域コミュニティも含めて市民活動施策としています。（事務局）

- ・市との協働を目的とした市民団体や個々の活動を重視している団体等、いろいろな団体があると思うが、市が支援する、ターゲットとしている団体はあるのか。

→特に限定はしておらず、全ての市民活動団体を対象としています。また、協働については、行政が出発点にならうようにし、市民からの意見をよく聴き、市民側が出発点となるよう心がけております。しかしながら、全ての市民活動団体の意見が行政の施策に合致しているわけではないので、お互いに協議しながら話を進めていければと考えております。（事務局）

- ・企画提案型協働事業、まちづくりファンドともに、提案内容が、生涯学習や環境分野の割合が多いという印象である。市には少子高齢化対策等の福祉施策があると思うが、この分野において、市民活動団体と協働していくような考えは、市の意識としてあるのか。

→生涯学習や環境分野における市民活動団体の意識が高いと考えます。特に環境については、近年開発が進んでため、特に意識が高いと考えます。福祉分野については、法律等が頻繁に改正されるため、行政はその対応に追われ、協働についての意識がまだ浅いことについては否めません。（事務局）

- ・企画提案型協働事業指定テーマ型に、福祉分野から提案があるといいなと思います。

- ・少子高齢化の分野で、市が指定する提案としてあるといいなと思います。

- ・前回の、市民団体が発表する成果報告会の中で、担当課職員のコメントや評価が、市民活動団体と齟齬（温度差）がある部分もあった。この辺の調整はどうなっているのか。

→当課としては、担当課と市民活動団体の間に入って、協働事業の成功に向けて協議や調整を行っております。また、報告会に担当課職員を出席せる意図といたしまして、事業の丸投げ（下請け）ではなく、自分達も一緒に取り組んでいるという意識づけもあります。（事務局）

- ・ 次回は、担当職員から一言もらうようなシナリオも取り入れてほしいです。
  - ・ 指定テーマ型は、いつから始まったのか。また、今までの内容は何か。
- 平成28年度に募集が始まり、平成29年度から事業実施となりました。内容は、男女共同参画事業アドラー心理学、貯整池（ひょうたん島池）の整備事業です。（事務局）
- ・ 印西市の協働は、福祉系や企業系が、過去の的に見ても少ないのが現状である。しかしながら、団体側も経済的な課題や、特に福祉系では市民活動とボランティアとの住み分け等、課題が多いのが現状である。
  - ・ 各部署から市民の手をもっと借りたいといったような業務を「指定テーマ」で募集しても良いのではないのでしょうか。
  - ・ 行政が考える「公助」「自助」「共助」をもっと明確化して、市として大きな視野で、指定テーマを検討してみたいかでしょうか。
- 各部署にて、課題の整理（業務の掘り起こし）がまだできていない現状もありますので、今後はこのことについても検討してまいりたいと思います。（事務局）
- ・ 行政として応援してほしいことをテーマにしてみても良いと思う。
  - ・ 市民活動団体と協働事業を行う担当職員は、市として目指す方向性をはっきりとさせた業務意識を持って臨んでほしい。
  - ・ 市民にももっと問いかけ（市民側の掘り起こし）が必要であると考えます。
  - ・ もっと地域と行政とで話ができる環境整理や、行政の弱みを正直に市民に見せられるような風通しの良さにより、市民や企業がもっと積極的に協働に取り組めると考える。また、今後の市民活動は、地域コミュニティにおいて、営利非営利問わず民間とどうやってかかわっていくのか、その中で協働はどのように取り扱うのかが必要となる。さらに、市民活動推進課は、行政の中に民間の力をどういれていくのか、行政の中で民間でもできることは何かを関係部署とコーディネートしていくといった業務が求められていくと考える。（粉川委員長）

#### 4 その他

- ・ 令和元年度企画提案型協働事業実施要領（一部修正）の承認。
- ・ 次回の委員会予定について確認した。

以上

令和元年5月24日に行われた、印西市市民活動推進委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和2年1月16日

会議録署名委員 粉川 一郎